

【第6学年国語】

目的や意図に応じて資料を選び、構成メモを活用して意見文の構成を考え、説得力のある双括型の意見文を書く

1 指導計画

- 1 時間目 ホタルの住む水辺を守る取組を提案するための意見文を書くという課題をとらえ、それに合った資料を、理由を明確にして選び、共通点を見付ける。
- 2 時間目 スピーチ原稿を基に説得力のある双括型の意見文の書き方をとらえ、構成メモを作る。
- 3 時間目 資料から分かった事実とそれを基に考えたことを入れ、説得力のある意見文を書く。

2 指導のポイント

この問題は、グラフや取材メモなどの資料を基にし、ホタルの住む水辺を守る取組を提案するための意見文を書くものである。ここでは目的や意図に応じた資料を選ぶ力、複数の資料を関連付けて読み取る力、より説得力のある意見文を書く力が必要である。そこで、これらの力を付けるために、次のように段階を踏みながら指導に当たりたい。

1 時間目

まず、資料の読み取りを行う。意見文を書く目的をおさえ、その目的に合った資料を選び、理由を明確にする。その後、それぞれの資料には共通した課題があることを確認し、ベン図を使って整理しまとめていく。

2 時間目

川田さんのスピーチ原稿を基に、意見文の構成を確認する。その際、良いところを見付け発表し、説得力のある意見文の書き方をとらえてから、構成メモを作る。

3 時間目

より説得力がある文章にするために、例文を用いて、資料から分かった事実とそれを基に考えたことを取り入れる良さに気付く。その良さと構成メモを基に意見文を書く。

3 各時間の指導

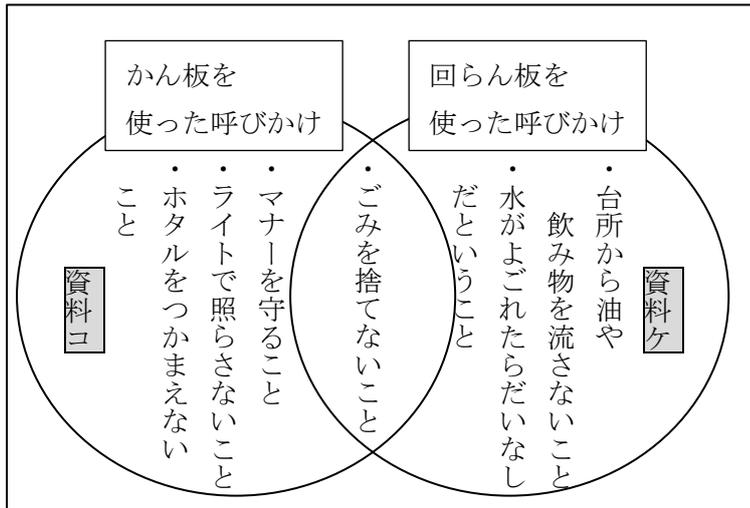
(1) ホタルの住む水辺を守る取組を提案するための意見文を書くという課題をとらえ、それに合った資料を、理由を明確にして選び、共通点を見付ける。

主な学習活動と教師の働き掛け		・留意点 □評価
意見文を書く目的をおさえる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を読み、課題を確認する。</li> <li>・資料を全員で読み、グラフの見方や数値、内容について確認する。</li> <li>・ワークシートを用意し、選んだ資料と課題を書き込めるようにする。</li> </ul>
<b>T 森山小学校の児童会は、学年朝会で何をしようとしていますか。</b> ・ごみ拾いや草取りの他に、「森山ホタルの会」と一緒にできる取組を考えています。		
目的にあった資料を選び、その理由を明確にする。 <b>T 森山小学校の児童会は意見文を書き、6年生に提案することになりました。意見文を書くためにどのような資料を選ぶとよいですか。</b> ・ホタルの住む水辺を守る上での課題について書いてある資料を選びます。		
<b>T どの資料にどのような課題が書いてありますか。</b> <b>【資料ウ】</b> ・ごみ広い活動をしているけど、ここ最近のごみの量があまり減っていない		<b>【資料ク】</b> ・ごみだけではなく、台所から流される油や飲み物がホタルの命をうばっ

いな。 ・毎年25kg以上のごみが捨てられているということになるね。	ていることになるよ。 ・ホテルを見に来る人のマナーがよくないのも原因の1つだ。	・複数の資料に同じような課題が書いてある児童がいた場合、それを発表させ、次の課題につなげる。
【資料オ】 ・生活排水や土砂が川に流れ込んで川が汚れてしまったんだね。 ・ホテルをつかまえる人がいるから数が減っていくんだね。	【資料ケ】 ・いくらごみ拾いなどしても川がよごれたらだいなしになってしまうよ。	
	【資料コ】 ・ライトでホテルを照らす人がいるということだ。	

複数の資料から共通点を読み取る。

T 資料ケと資料コには共通点があります。ベン図を使って整理してみましょう。



・ホテルの住む水辺を守る上での課題は、水を汚さないこと、ごみを捨てないこと、マナーを守ることだね。それらを基に提案していこう。

・ベン図の使い方やその良さを、例を使って説明する。

・メモを付箋に書き操作して分類させる。黒板に拡大したものを掲示し、まとめていく。

□目的にあった資料を、理由を明確にして選び、その共通点を見つけることができたか。

(2) スピーチ原稿を基に説得力のある双括型の意見文の書き方をとらえ、構成メモを作る。

主な学習活動と教師の働き掛け		留意点 □評価	
スピーチ原稿を基に意見文の書き方をとらえる。			
T 川田さんのスピーチ原稿のどの段落にどのような内容が書かれているかまとめてみましょう。			
「始め」に主張を述べ、「終わり」に主張を繰り返す「双括型」の意見文です。			
終わり	中2	中1	始め
え。タルを守る活動ができます。	このように、回らん板を使って地いきの人と協力してホテルを守る活動ができます。	次に、川の水をよごさないためにできることをお願いしたいと思えます。「資料オ」にあるように、川の水がよごれたことでホテルの数が減ったことが分かっていきます。台所から油や飲み物を流さないようにすることは、川をきれいにするために、わたしたちにもできることです。それを地いきのみなさんへ呼びかけたいと思います。	実行委員会では、毎年行っている「草取り」や「ごみ拾い」のほかに、今年は回らん板を使ったお願いにも取り組むことを提案します。なぜなら、森山区を「ホテルの町」にするためには、地いきの人の協力が必ず必要だと考えるからです。
「始め」「中」を受けてまとめを書いています。	提案する内容を2つの段落に分けて書いています。 ①提案する内容→②資料から分かった事実→③それを基に考えたことの順に書いています。		提案することとその理由が書かれています。

**T このスピーチ原稿で良いと思うところはどこですか。**

- ・「始め」に提案することやその理由もはっきりしているところです。
- ・お願いの内容を2つにして、段落を分けて説明しているので分かりやすいです。
- ・資料から分かることがあるので説得力があります。また、資料から考えたことが書いてあるので、川田さんの思いが伝わってきます。
- ・「始め」と「中」を受けて「終わり」でまとめているので説得力があります。
- ・「まず」「次に」「このように」という言葉を使って順序よく書いています。

- ・原稿が「双括型」であることを押さえておく。他に、「頭括型」「尾括型」があることも押さえておく。その際に同じ内容の例文をそれぞれの型で書いた例文を示すとより理解が深まる。

スピーチ原稿を基に、構成メモを作る。

**T 説得力のある意見文になるように、構成メモを考えましょう。**

- ・資料から分かることが書くと説得力があるよね。
- ・最後にもう一度提案する理由を書くといいね。

〈構成メモ〉→「双括型」で書く。

終わり	中		始め
第4段落	第3段落	第2段落	第1段落
このようにかん板を使つて見に来る人たちに呼びかけることで、	資料から分かったこと 資料から考えたこと 資料の記号： まず、くを呼びかけます。	資料から分かったこと 資料から考えたこと 資料の記号： まず、くを呼びかけます。	今年は、かん板を使った呼びかけにも取り組むことを提案します。なぜなら

□説得力のある意見文の書き方を捉え、構成メモを作ることができたか。

**(3) 資料から分かった事実とそれを基に考えたことを入れ、説得力のある意見文を書く。**

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
----------------	----------

数値や考えたことを入れると説得力が増すことに気付く。

**T どちらの文章が、説得力がありますか。**

〈例文1：数値あり〉

〈例文2：数値なし〉

まず、ごみを捨てないことを呼びかけます。「資料ウ」にもあるように、毎年二十五キログラム以上もごみが集められています。二十五キログラムも川にごみがあるというのは多いと思います。

まず、ごみを捨てないことを呼びかけます。「資料ウ」にもあるように、毎年たくさんのごみが集められています。川にたくさんのごみがあるというのはよくないと思います。

- ・教師が作成した例文を拡大して用意する。事実線は実線、考えたことは波線を引かせ、違いに着目させる。

- ・〈例文1〉です。

**T それはなぜですか。**

- ・両方ともごみが多くあることは分かりますが、25kg以上というとその多さははっきりわかり、自分の身近なこととして感じる事ができるからです。

## T どちらの文章が、説得力がありますか。

〈例文1：事実と考えの整合性あり〉 〈例文2：事実と考えの整合性なし〉

次に、ホタルを見るときに守ってほしいことを呼びかけます。「資料コ」からホタルを見ながらライトを照らす人がいることが分かります。周りが明るいこと、ホタルは仲間を呼ぶことができなくなってしまうと思います。

次に、ホタルを見るときに守ってほしいことを呼びかけます。「資料コ」からホタルを見ながらライトを照らす人がいることが分かります。ライトを照らすと周りが明るくなるのでホタルを見に来た人がけがをしなくなると思います。

- 理由を明確にして共有することで、資料から分かった事実とそれを基に考えたことを取り入れる良さに気付かせる。

- 〈例文1〉です。

## T それはなぜですか。

- 〈例文2〉の考えたことは、資料から分かった事実と関係ない考えなので、書く必要がない考えだと思います。

構成メモを基に、意見文を書く。

## T それでは、構成メモを基に、意見文を書きましょう。

今年は、かん板を使った呼びかけにも取り組むことを提案します。なぜなら、見に来る人が気を付けられなければ、ホタルの住みやすい川にはならないからです。まず、ホタルをつかまえないことを呼びかけます。「資料オ」を見ると、ホタルを見る人がホタルをつかまえてしまうことが、数が減った原因の一つになっています。「資料コ」にあるように、山本さんもやめてほしいと言っています。自然の生き物をそのまま観察することは大事なことで考えます。

次に、ホタルを見るときに守ってほしいことを呼びかけます。「資料コ」からホタルを見ながらライトを照らす人がいることが分かります。周りが明るいこと、ホタルは仲間を呼ぶことができなくなってしまうと思います。

このようにかん板を使ってホタルを見に来る人たちに呼びかければ、マナーを守って見る人がふえて、ホタルの住みやすい川にできると考えます。

今年、かん板を使った呼びかけにも取り組むことを提案します。なぜなら、ホタルを見に来る人のマナーをよくする必要があると考えるからです。まず、ごみを捨てないことを呼びかけます。「資料ウ」にあるように、毎年二十五キロ以上のごみを集められています。二十五キロも川にごみがあるというのは多いと思います。「資料ク」にあるように、ホタルの会の人たちもごみがなくならないことに困っています。

次に、ホタルをつかまえないことを呼びかけたいと思います。「資料オ」にあるように、見に来る人がホタルをつかまえたことでホタルの数が減ってしまったことが分かっていくからです。

このように、かん板を使ってホタルを見に来る人たちに呼びかければ、ホタルを見に来る人のマナーがよくなって、ホタルが守れると考えます。

- 意見文を書くときに、自己評価の観点を作文用紙に示す。

- 資料から分かった事実や、それを基に考えたことを取り入れているか。
- 資料から分かった事実と考えたことが整合しているか。

- 資料から分かった事実とそれを基に考えたことを取り入れる良さに気づき、意見文を書くことができたか。

